

震度6のつめ跡も昼夜の復旧努力でこの通り

去る1月15日（成人の日）に発生した釧路沖地震は、震度6、マグニチュード7.5のかつてない強いもので、その被害額も調査が進むにつれ膨らみ、釧路開建が所管する施設だけでも災害復旧費は270億円を超える規模となっている。

一般国道では、大規模なものだけみると11路線のうち6路線13箇所被害があり、特に3箇所全面交通止めとなったが、その後の管理者の素早い対応と、施工業者の昼夜兼行の努力で、45日間に3箇所とも通行可能となった。

関東大震災並みの規模の釧路沖地震による道路の被害状況と復旧状況にスポットを当ててみた。

▼復旧前



株式会社 地崎工業

▼復旧後



一般国道38号白糠町馬主来道路災害復旧工事
(工期 H5.2.19~H5.3.29)

▼復旧前



伊藤組土建株式会社

▼復旧後



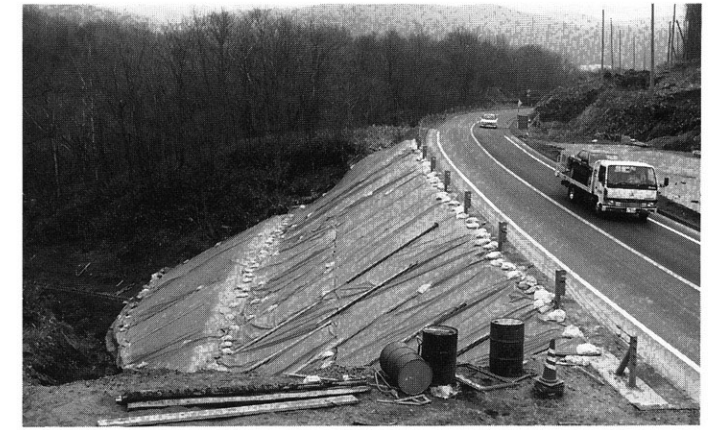
一般国道44号厚岸町糸魚沢道路災害応急復旧工事
(工期 H5.1.27~H5.3.25)

▼復旧前



田中・菱中・中村 JV

▼復旧後



一般国道391号釧路町鳥通登坂車線設置工事
(工期 H4.12.22~H5.10.25)

▼復旧前



岩田建設株式会社

▼復旧後



一般国道272号標茶町東阿歴内道路災害応急復旧工事
(工期 H5.1.27~H5.3.25)

▼復旧前



株式会社 地崎工業

▼復旧後



一般国道240号阿寒町松之恵橋災害応急復旧工事
(工期 H5.1.27~H5.2.26)